

施政方針

東日本大震災から11カ月余りが経過した2月16日、風間康静市長が第397回白石市議会定例会で施政方針演説を行い、平成24年度の市政運営の基本的な考えを明らかにしました。一日も早い震災からの復興を誓うとともに、「第五次総合計画」の実現に向けて決意を新たにしました。

全力を挙げて安心・安全な白石を取り戻し、復興に弾みを付ける年に—

などの社会資本の復旧、放射能対策を最優先課題にふるさと白石に誇りを持てるまち」を目指します！

東 日本大震災は、市民4名の尊い命を奪い、多数の家屋や道路、下水道、公共施設に甚大な被害をもたらしました。さらには、福島第一原子力発電所事故（以下、原発事故）による放射能汚染と風評被害が、商工業・農林業・観光業など産業全般に影響を及ぼし、健康面からも市民の皆さんの不安は根強いものがあります。本市では昨年9月、早期に震災前の活力を回復し、さらなる市民生活の発展を目指すため、そして、市民が安全で快適に暮らせるまちづくりを推進するため、平成29年度までを計画期間とする「白石市東日本大震災復興計画」を策定しました。

私は、平成24年度を「復興元年」と位置付け、同計画に基づき、被災者の一日も早い生活の再生と地域産業の再建、市道・公共施設などの社会資本の復旧、原発事故による被害への対応などを最優先課題として、国の復興特区制度なども有効に活用しながら、全力を挙げて安心・安全な白石を取り戻し、復興に弾みを付ける年にしたいと考えています。

「第五次総合計画」2年目

平成24年度は「第五次総合計画」の2年目であり、引き続き「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を戦略テーマに、人・経済・文化・情報などが行き交うまちを目指し、白石の将来像「市民が共に支え合いながら、生きる力を育み、ふるさと白石に誇りをもてるまち」の実現のため、市民総参画



▲セコム工業(株)の新社工場社屋の完成には、地域経済の活性化に大きな期待が寄せられています

のまちづくりを推進し、次の世代に誇りを引き継ぐことができる白石の実現を目指します。また、雇用の確保や製造業の振興などを図るための企業誘致については、現在、白石インター工業団地の1区画に、セコム工業株式会社の新社工場社屋の建設工事が行われ、復興の兆しを実感できる明るい話題となっています。新工場は本年11月に完成予定で、地域経済の活性化と地元雇用の創出に大きな期待を寄せています。セコム工業株式会社の移転新築を弾みに、今後も、私自身がさまざまな機会をとらえトップセールスを行うことはもとより、宮城県をはじめ関係機関や市議会議員の皆さんと力を合わせて、企業誘致に向けた活動を積極的にまいります。

復興元年

平成24年度は

「第五次総合計画」2年目

生活の再生と地域産業の再建、市道・公共施設「市民が共に支え合いながら、生きる力を育み、

豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち

市 民一人一人の個性や感性をまちづくりに活かし、地域の絆を再生していきながら、人間性豊かな社会の実現を目指すとともに、今に息づいている豊かな文化を再評価し、次世代に継承しながら、白石らしさの形成に取り組みます。

学校教育の充実と生涯学習の推進を図る

学校教育では、東日本大震災を教訓に「学校・家庭・地域」が連携して防災意識の高揚が図られるよう、防災教育の徹底に努め、防災教育研修会や防災教育主任の配置などを通して教職員

の資質向上に努めます。また、平成23年度に白石第一小学校に導入した「太陽光発電システム」を授業に活用するほか、現在、市内6小中学校で実施している「ユネスコスクール」の普及に努めるなど、環境教育の推進に取り組むとともに、英語教育の充実やアニメなどデジタルコンテンツの活用を促進し、個性ある教育環境の充実を図ります。

歴史文化の継承と創造

さらに、平成23年度より実施している「小中学校等環境美化事業」を継続実施し、小中学校などの環境整備を推進します。生涯学習の推進は、被災した碧水園などの社会教育施設の早急な復旧に努めるとともに、中央公民館や図書館などの主催講座の一層の充実を図るほか、生涯学習フェスティバルの開催や

さらに、平成23年度より実施している「小中学校等環境美化事業」を継続実施し、小中学校などの環境整備を推進します。生涯学習の推進は、被災した碧水園などの社会教育施設の早急な復旧に努めるとともに、中央公民館や図書館などの主催講座の一層の充実を図るほか、生涯学習フェスティバルの開催や

白石城やすまいるひろばなどを主とした城下町回遊ルートなどを活用し、歴史情緒を体感できる環境の整備に努めます。また、本市で発見された伊達家重臣「遠藤家資料・中島家資料」などの重要な歴史資料の保全に積極的に取り組みます。合わせて、白石城歴史探訪ミュージアムで定期的な企画展示会などを開催するとともに、武家屋敷では「七草の会」などの伝統行事を行い、白石の歴史的魅力を感じる場を創出します。

災害復旧事業

- 農林業施設災害復旧事業（事業費：1,200万円）

主に東日本大震災により被災した農道などの災害復旧事業。単独災害復旧事業として平成24年度の早期復旧を目指し、また、農道などに災害が発生した際の委託料を計上し、災害発生後は速やかに調査・測量設計を進めます。
- 公共土木施設災害復旧事業（事業費：7億5,323万7千円）

東日本大震災により被災した市道などの災害復旧事業。平成23年度より順次復旧に向けた工事を進めており、下水道の復旧との関連などから災害件数138件のうち68件を、平成24年度に発注し早期復旧を目指します。



震災復興対策事業

- 住宅災害復旧等補助金（事業費：1,000万円）

東日本大震災により被災した住宅などの原形復旧を行う所有者に工事費の一部を助成し、住宅の早期復旧による住家の安全を図ります（平成23年度に引き続き実施）。
- 宅地災害復旧補助金（事業費：1,500万円）

東日本大震災により被災した宅地の法面や擁壁などの原形復旧を行う所有者に工事費の一部を助成し、宅地の早期復旧による住家の安全を図ります（平成23年度に引き続き実施）。
- 被災者支援総合窓口の開設（事業費：656万6千円）

宮城県の震災等緊急雇用対応事業補助金などを活用して、市役所1階ロビーに被災者支援を主な目的とした総合案内窓口を設置し、各種被災者支援制度の紹介や所管課窓口への誘導業務などを行います（平成23年度に引き続き実施）。